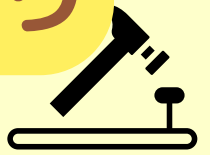


城南分教室 ひよこ組だより

2歳児の活動

テーマ：くるまづくり



小さなエンジニアの挑戦！～走る車を作ったよ～

2歳児で廃材の箱やキャップを使い、本格的な「動く車」作りに挑戦しました。

■ドキドキ！本物の道具に触れる

「タイヤはいくつ必要かな？」とみんなで考えた後、本物の金づちと釘を使ってキャップに穴を開けました。初めて握る道具の重みにドキドキしながらも、大人と呼吸を合わせて慎重にトントン…。進みたい方向を考えながら、親子でタイヤの向きを相談する姿は真剣そのものでした。

■経験を自信に！

「自分たちの力」で再挑戦 一度廃材の車を走らせて仕組みを学んだ後、次は木のタイヤと棒を使い、子どもたちだけの力で作る時間を設けました。「さっきはどうやったっけ？」と先ほどの経験を思い出しながら、一生懸命に組み立てていく姿に、大きな成長を感じました。

■広がる想像力と、白熱のレース！

木のタイヤに変えると、転がりぐんと良くなります。「はやーい！」とみんなですごいレースをして大盛り上がり！その後は、電車やバスに見立ててライトをつけたり、運転手さんを描き込んだりと、こだわりが詰まった世界に一台の車が完成しました。仕組みを理解し、自分の手で形にする喜び。そんな達成感に満ちた、キラキラした笑顔溢れる一日となりました。

